

声明

政治家の皆さん、家庭連合（旧統一教会）からの支援を受けないで下さい

2018（平成30）年6月1日

全国霊感商法対策弁護士連絡会

代表世話人 弁護士 平 岩 敬 一（横浜）

代表世話人 同 郷 路 征 記（札幌）

代表世話人 同 中 村 周 而（新潟）

代表世話人 同 河 田 英 正（岡山）

事務局長 同 山 口 広（東京）

（私たちの声明の要旨）

- 1 私たち、全国霊感商法対策弁護士連絡会は、世界平和統一家庭連合（略称「家庭連合」旧称世界基督教統一神霊協会、以下「統一教会」といいます。）による霊感商法被害の救済と根絶のために、1987年5月、全国の弁護士約300名により結成された弁護士の連絡会です。
- 2 昨今、国会議員、地方議員を問わず、家庭連合の集会や式典に出席し、祝辞を述べ、祝電を打つという行為が目立っています。これらの祝電は、家庭連合により、自分達の活動が社会的に承認されており、問題のない団体であるという「お墨付き」として利用されます。
- 3 家庭連合は、統一教会と名乗っていた頃から、信者の人権を抑圧し、霊感商法による金銭的搾取と家庭の破壊等の深刻な被害をもたらしてきた反社会的な団体であり、家庭連合に名前を変えてからもその体質は変わっていません。政治家によるお墨付きは、家庭連合による反社会的な活動を容易にし、また、是正を困難にするものとして悪用されます。これは、政治家にとって、本意ではない筈です。
- 4 「統一教会（家庭連合）」「政治家」などのキーワードでインターネットを検索すれば多くの記事がヒットしますし、週刊誌等において統一教会と政治家の関係性について報道されることもあります。政治家が家庭連合の集会や式典に出席し、祝辞を述べ、祝電を打つという行為は、徒にスキャンダルの種を抱え込むことにもつながりかねません。
- 5 政治家の皆様が統一教会（家庭連合）と連携することがどのような社会的弊害をもたらすか考えて慎重な対応をされるようお願い致します。